

平成24年度「水・土壌環境保全活動功労者表彰」受賞者一覧(敬称略)

推薦者	団体	個人	主な功績
北海道		フクヤマ リュウジ 福山 龍次	長年にわたり試験研究機関の研究職員として、水環境保全に係る調査業務に携わるとともに、特に沿岸域の水質環境をテーマとした調査研究に精力的に取り組み、多数の論文の発表や学会等での発表、講演を行うなど衛星画像による水質汚濁状況の把握に大きな成果を上げた。 また、国立環境研究所客員研究員、環日本海環境協力センター(NPEC)地方委員、国際湖沼学会(SIL)監査委員、サロマ湖環境保全対策管理委員会委員などを歴任、現在はアムール・オホーツクコンソーシアム(国際会議)検討委員に就任するなど、国内外における活動にも積極的に取り組み、水環境保全に関する学術研究において多大な貢献をしている。
岩手県	ユダイ ナガ ゲンリュウ アジロダキ 古代の流れ源流「網代滝」 マモ カイ を守る会		大久保川上流部に位置する「網代滝」を守りながら地域資源として活用するため、遊歩道及び案内板の設置や滝に通じる林道の草刈など周辺の環境整備を行うとともに、下流部の定期的な草刈や清掃、こどもエコクラブが行う水生生物調査への全面的な協力などにより、水環境保全の普及啓発に貢献した。
山形県		オオイワ トシオ 大岩 敏男	県庁入庁以来の37年間一貫して環境行政に従事し、地下水・土壌汚染の調査、対策指導及び研究について、また、最上川など水環境の実態調査、生活排水対策などについて、先頭に立って業務を推進し、県民の健康の保護及び生活環境の保全に努めてきた。 特に、地下水汚染の科学的自然減衰(MNA)の研究等で成果を上げた。 平成13年度から産学官民が協働で県内河川の水環境保全活動を行う「美しい山形・最上川フォーラム」の活動に継続的に参加するとともに、社団法人日本水環境学会東北支部幹事として支部の運営に携わっている。
茨城県		モチツキ フクオ 望月 福男	昭和60年2月に産業廃棄物処理、一般廃棄物処理、浄化槽施工及び維持管理を営む会社の代表取締役役に就任した。 同年に(社)茨城県水質保全協会の会員となり、積極性と行動力をもって生活排水処理の重要性を訴えるとともに、生活環境整備を重視し、市民の快適な生活及び水環境保全に大きく貢献している。 また、その能力と情熱が認められ、平成9年5月からは同協会の理事として、協会の運営に積極的に参加し、事業推進委員会の委員長を務めるなど、協会の円滑な運営に寄与している。 更に平成18年度からは、同協会ひたちなか支部長に推挙され、豊富な知識、技術を活かし、支部会員の技術の向上に努めるとともに、地域住民に対し、浄化槽の設置や維持管理上の諸問題に対して、相談、助言を行うなど生活排水処理の重要性を訴え、水環境保全に尽力している。
栃木県	ドウメキガワ 百目鬼川をきれいにする カイ 会		会を発足以来、毎月1回第1日曜日に百目鬼川とその周辺の水路、道路のごみ拾い、草刈りなどの清掃活動や、草花の手入れ等の環境美化活動を行うことで、地域の水環境保全活動に貢献している。 川の魅力を発信するため、年1回程度、ホタル観賞会や源流ハイキング、川沿いにある藍染工房での藍染体験等を行っている。 また、地元の中학생や高校生との環境学習共同プログラムにより、川の清掃等のボランティア活動やサマーボランティアスクール(環境先進地の視察等の研修)を実施することで、地域の子供たちの水環境保全意識の醸成に貢献している。 会員のうち2名が、益子町環境基本計画推進委員を務め、第1次環境基本計画に定めたリーディングプロジェクト「ふるさとの川の復活を！」の推進に貢献するとともに、第2次計画の策定に携わっている。また、昨年度実施したふるさとの川フェスティバルにおいて、主催者の一員として、川の生き物の調査を通じて子供たちの指導を行う等、地域の水環境保全活動を積極的に推進している。

埼玉県	ヒキカワキョウギカイ 比企の川づくり協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・河川見学会や流域懇談会などを開催し、河川の現状や今後のあり方について市民と行政が共通認識を持つ機会を設け、市民参加の川づくりを進めることにより地域の水環境保全に貢献している。また、川遊びイベントや環境学習、生き物図鑑の作成などをおして、地域の子供たちの水環境保全意識の醸成に貢献している。 ・特定外来生物に指定されているコクチバスの駆除活動を実施するとともに、魚類調査や専門的な測量機材を用いた環境モニタリング調査をとおして市民の立場での河川環境評価を行い、水環境の実態把握に貢献している。 ・よりよい河川環境を形成していくため、行政との協働事業に積極的に参加するとともに、地域の団体とも協力し合いながら地域の水環境保全活動に大きく貢献している。
	もりんど	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子供たちを対象とした素潜り体験やカヌー体験、生き物調査など実際に川と触れ合うイベントを実施し、川で遊ぶ楽しさを次代を担う子供たちに実感してもらうことにより水環境保全意識の醸成に貢献している。 ・町内を流れる河川の水質調査を継続して実施することにより水環境の実態把握に努めている。また、年3～4回発行している会報誌「もりんど通信」に水質調査結果を掲載することにより、地域住民に身近な河川の水質を周知し、水環境保全に貢献している。 ・地域の団体が実施している活動に「水辺分科会」として参加し、連携した活動を展開するとともに、県が実施している川の再生事業にも積極的に参加し、地域の水環境保全活動に大きく貢献している。
千葉県	サクランボプロジェクト まちづくり桜植樹プロジェクト(桜さんさん会)	<p>平成17年の会の設立以来、養老川周辺への桜の植樹や花壇等の整備を継続的に実施しており、河川環境の美化と良好な景観の形成に寄与している。</p> <p>また、植樹した桜の維持管理作業と合わせて、毎年4月から10月まで毎月全植樹エリアの除草作業、清掃等を実施しており、地域における水環境保全に多大な貢献をしている。</p> <p>また、市が主催する各種環境啓発事業(エコフェアいちほら等)にも積極的に参加・協力しており、水環境保全に係わる市民活動団体の模範として、水環境保全の普及啓発の一翼を担っている。</p> <p>桜植樹実績:ソメイヨシノ約200本 その他:アジサイ、ツツジ、ユキヤナギ等多数植樹</p>
	トクテイヒエイリカツドウホウジンヤチヨ 特定非営利活動法人八千代オイコス	<p>「印旛沼の浄化は身近な河川から」を合言葉に、千葉県民の飲み水である印旛沼へそそぐ花輪川において、水質の浄化や環境学習、環境整備等の保全活動を長年実施し、市内及び地域市民、親子へ水環境等の啓発活動を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年14回 河川の清掃を行う。 ・年4回 生きもの調査 年10回水質調査及び湧水調査 ・年1回 川の学校開催(小学生以上の親子) ・年2回 水質浄化と里山保全のため、竹炭焼きを行う ・年1回 花輪川周辺の地域と交流会を開催 ・市内のヘイケボタル調査を行う(時期:夏)
東京都	フッサミズベガッコウウンエイキョウギ 福生水辺の楽校運営協議会	<p>福生水辺の運営協議会は、子どもたちの水辺の遊びを支える地域連携体制の構築や、自然環境あふれる安全な水辺の創出を目的に河川管理者・市・市民・教育関係者の4者で平成16年に設立された。</p> <p>多摩川を中心に子どもの自然体験活動や親子での自然学習など、地域での環境学習に取り組むとともに、活動後には環境美化を目的に参加者と河川清掃に取り組んでいる。</p> <p>また、河川の水質調査を継続的に取り組み、河川の水質の実態調査に貢献している。</p> <p>(活動実績) 年6回の河川の清掃を行うとともに年に1回水質調査を実施している。また、年1回、河川周辺の植物(カワラノギク)の保護活動に取り組んでいる。</p>

富山県	オヤベガワ マナカイ 小矢部川に学ぶ会		<p>小矢部川に学ぶ会は、河川を通じて自然への関心を高めることを目的として、小矢部川の水質調査や、児童生徒を対象とした環境学習などを継続して実施している。</p> <p>【活動内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 小矢部川の水質調査や水生生物(魚・昆虫)その他の生き物の観察を行う自然観察会を年5回程度開催している。 2 観察会に参加した子ども達を「水辺のジュニアナチュラリスト」として認定し、将来のナチュラリスト候補者を育成している。 3 「水辺のジュニアナチュラリスト」とともに、小矢部川の水質検査(中・下流8地点でのCOD測定)を行っている。 4 地元の小学校が実施する環境学習に講師として参加するなどの協力を行っている。
福井県	フクイケンリツオバマスイサンコウトウガッ 福井県立小浜水産高等学 校ダイビングクラブ		<p>アマモマーメイドプロジェクト 平成16年度より、かつて湾内に群生していた水質や底質の改善に大きな役割のあるアマモ(海草)場を再生する活動を始めた。アマモの苗を育て海底に定植する活動では、今までに約1000㎡のアマモ場が再生でき、海底の底質の改善や多様な生物が確認されるなど環境が大きく改善された。アマモを中心とした海洋環境に関する啓発活動では、アマモの役割や海洋環境についての出前授業を小・中学校や公民館等で行っている。</p> <p>アマモや海洋環境の研究活動では、福井県立大学、福井県水産試験場、福井県栽培漁業センター、民間企業と共同で研究を行い、「アマモの発芽率向上」、「アマモの分布調査」、「海洋観測」等を行っており、どの研究においても新規の知見の発見や技術の確立に至っている。研究結果については、これまで日本水産学会など各種の学会で発表を行い、平成19年には日本水産学会高校生の発表最優秀賞を、平成22年には日本水大賞文部科学大臣賞を受賞するなど様々な賞をいただいている。</p> <p>このプロジェクトは地域や漁業関係者を中心に活動の輪が広がり、平成17年には支援者の中から「アマモサポーターズ」という活動を支援する団体も組織された。現在では、サポーターズと共同で山や川など地域全体の環境に関する講演活動や学習会、大学・研究機関と連携して沿岸域の湧水および若狭湾の海底湧水の調査・研究発表を実施している。</p>
長野県	クルマヤセギ 車屋堰をきれいにする会		<p>平成15年から年2回の河川清掃のほか、虫等が生息できる環境整備や近年繁茂し続ける特定外来生物のアレチウリ・オオカワジシャ等の駆除に取り組み、また、堰に棲む生物の観察・調査や学校サポート事業として湧き水探検等の環境教育活動を続けている。</p>
岐阜県		ユウノ ユキオ 河野 行雄	<p>・諏訪湖の浄化を目指し富栄養化機構の解明に取り組み、アオコの発生に関わる窒素・リンの底質からの移行について研究し成果を上げた。</p> <p>・須高地方の酸性河川の問題に取り組み、廃鉱山による酸性物質の負荷量を明らかにして、酸性水対策のための基礎データとした。</p> <p>・合併処理浄化槽の放流水を木炭を利用して浄化する方法を検討し、成果を上げた。</p> <p>・衛生公害研究所と自然保護研究所の統合に際し、指導的立場で統合によるメリットを生かした研究の企画推進を進め、後進の指導に努めるとともに、研究所の使命を示して県民や行政に信頼される研究所を目指した。</p>
岐阜県		ウスイ ノブシ 臼井 信字	<p>水環境の生物調査をはじめ、地域や小学校における環境学習講師として水環境保全の啓発活動に多大な功績を認める。</p> <p>岐阜県の河川環境レンジャーの委嘱を受け、自然環境の保全を行い、御嵩町を中心に広域的に活躍した。</p> <p>平成15年から、御嵩町環境マイスターの認定を受け、環境学習講座において地域の水生生物の紹介や観察会の指導に尽力した。</p> <p>また御嵩町生物環境アドバイザーの委嘱を受け、公共工事において生物環境に配慮した工法等について助言・指導を行っている。</p> <p>さらには、御嵩町版レッドデータブックの策定委員を務め、水生生物調査や選定基準において中心的な役割を果たした。</p>

愛知県	ニッキチョウ 仁木町		<p>【H16】町内河川の水質向上のため岡崎市と「生活排水対策推進に関する協定」を締結。生活排水に関する勉強会の開催や、町内の全家庭に三角コーナーを設置するなど、河川への負荷の少ない生活の模索や対策の実施を行っている。</p> <p>【H17】生活排水が流れる水路の川底5箇所竹炭450kgを設置し、水路の直接浄化を行う。</p> <p>【H18～】その後、竹炭の交換を毎年1回行い、水質浄化に努めている。</p> <p>その他にも水質浄化の確認をするため、月1回のパックテストによる水質調査を行っており、水環境の実態の把握に努めている。その結果、これら市民の自主的かつ熱心な活動により、水路の水質は良好になってきており、かつ、近年ではメダカなどの在来の小魚も棲みはじめ、生物の多様性にも寄与している。</p> <p>今後も町ぐるみで生活排水対策を行い、また、竹炭の入れ替えや水質調査を行うことで良好な水環境の構築を目指しており、更なる水環境の改善が期待される。</p>
京都府	キョウトフリツアヤベコウトウガッコウヒガン 京都府立綾部高等学校東 分校 フンコウ		<p>本校農芸化学科の専門性を活かし、由良川のCOD、アンモニア態窒素、リンなどの化学的水質調査や、大阪府立大学等と連携し、環境指標となる水生生物の調査を行っている。</p> <p>また、由良川の環境保全のため、定期的な清掃活動及びゴミの調査を実施している。</p> <p>「由良川を守る」という強い使命感から、高校生が自分たちを「由良川レンジャー」と称して、地元小学生を招いての環境授業や、上林川に向き小学生と一緒に水生生物を採取したり、顕微鏡観察を行う等の出前授業を実施した。</p> <p>活動には地方公共団体や地元河川美化団体等の協力を得て、地元広報誌、新聞やラジオでも紹介された。</p> <p>由良川の素晴らしさと共にゴミ問題等の課題を多くの人に伝えるため、さまざまな場面(京都府学校農業クラブ連盟大会、京都府高校生環境サミット、京都環境フェスティバル等)で発表の機会を得て啓発活動を推し進めた。</p>
大阪府		オオツキ 大槻 ミンノブ 芳伸	<p>瀬戸内海環境保全臨時措置法施行時から水質保全行政に従事し、COD総量削減計画、磷の削減指導方針、瀬戸内海環境保全大阪府計画などを策定、今日の礎を築いた。</p> <p>また、環境管理室長時代には2月を生活排水対策推進月間と定めて、対策を推進した。</p>
兵庫県	リュウイキ 流域ネット猪名川 イナガワ		<p>流域住民・行政・企業が手をつなぎ、猪名川に関心を持ち活動する人を増やし、多様な生き物が棲める清流を取り戻すために、フォーラムを開催したり、子どもたちに川で遊ぶ楽しさや怖さを伝えるカヌー体験や、流域全体に呼びかけた流域一斉クリーン作戦をしながら身近な川の現状を知ってもらう活動等を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回猪名川流域24ヶ所で一斉クリーン作戦を実施(毎回1,000名が参加)。 ・子どもたち等が水質に関心を持って観察するようクリーン作戦にあわせて水質調査(パックテスト)を実施。 ・在来植物が減り外来種が増えた河原で、「在来種が互生するオギ原再生」に取組み、外来生物を除去し、貴重種「カワラナデシコ」の苗の河原への植栽や、「カワラマツバ」の群生地を保護するなど河川環境の保全を実施。 ・新規活動参加者が生物多様性と外来種の関係など理解してもらうため「猪名川の外来種対策ハンドブック」を作成。 ・川への関心を持つ流域住民を増やすネットワークづくりを行い協働して多様な生物が棲む川づくりを目指す。
	ライオンズクラブ国際協会 335-D地区5R・2Z コクサイキョウカイ テク		<p>40年間の永きに渡り、千種川の上流から下流までの全流域について、水生生物調査及び水質調査を実施するとともに、その結果をとりまとめた冊子を毎年発行している。</p> <p>この調査は、流域の小中学校の児童生徒や消費者団体等とともに実施しており、この活動を通じて身近な水環境である「清流 千種川」の保全について、多大な啓蒙効果を果たしている。</p> <p>また、これまでの調査によって得られた結果は、歴史的価値を有する有益かつ貴重な環境データである。</p>

香川県	イズミ メイスイ マモ カイ おま泉の名水を守る会		<p>地元の有志により昭和54年に会を結成して以降、楠井の泉及び周辺の清掃活動等を継続して実施している。</p> <p>香川県が平成12年に「残したい香川の水環境50選」を認定したうちの1選である「楠井の泉(お前(ま)泉(いずみ))」(湧水)の水環境保全推進員として委嘱し、水環境保全に貢献している。</p> <p>清掃活動は自主的にほぼ毎日行っているほか、水質検査を実施するなど、地域にとって貴重な水環境の保全活動に長期にわたり努めている。</p>
	アヤガワチヨウ リツアヤカミ チュウガンコウ 綾川町立綾上中学校		<p>身近な川に感心を高め、水環境保全活動に理解を深めることを目的に、水生生物調査を継続して実施している。</p> <p>生徒会が主催している選択ボランティアの一環として、毎年15名から20名の生徒が自主的に水生生物調査と河川周辺の清掃を行っている。</p> <p>また、ボランティアを募り、有志で地域清掃の一環として定期的に河川の清掃を行う等、地域の水環境保全に貢献している。</p>
福岡県		クマベ タカシ 隈部 俊	<p>鉱工業都市として日本の近代工業の発展を支えた一方で水質汚濁などの公害が生じた大牟田市において、公害対策の大変革期であった昭和47年に入庁以来、36年の長きにわたり、市職員の中心となって公害対策、環境保全に尽力し、同市の水質改善に貢献した。</p> <p>企業の汚水処理場建設にあたって現地の監視を行ったほか、企業との公害防止協定の締結に尽力した。</p> <p>公害対策行政から環境保全行政への移行期には、水質担当主査として、平成8年の家庭廃油回収モデル事業の実施に尽力し、加えて、平成17年3月に全市域が生活排水対策重点地域に指定された際には、大牟田市生活排水対策推進計画の策定にあたり中心的役割を担った。</p>
熊本県	マシキチヨウリツ イノ ショウガッコウ 益城町立飯野小学校		<p>校区を流れる岩戸川を中心に指標生物等による地域の水環境の実態把握、地域住民と一体になって取組む「ホタル鑑賞会」による水環境保全に関する啓発・普及など、以下に示す活動は、本県の豊かな環境の保全・創造に貢献している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年でテーマをもった環境学習 ・地域と一緒にした環境活動 ・農業の価値、治水の歴史、環境保全等に視点を置いた活動
		ニシムラ ケンイチ 西村 健一	<p>36年間にわたる地下水質を中心とした先駆的な多くの取組みは、本県の水質保全行政の推進に貢献するとともに、全国的に先駆けした取組みは全国のモデルケースとして位置付けられるなど、本県の水環境保全行政に大きく貢献した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機塩素化合物地下水汚染対策:3年 ・地下水質保全条例の制定:3年 ・硝酸性窒素地下水汚染対策:2年 ・有明海及び八代海の再生のための施策の推進:1年 ・本県における環境配慮制度の構築:2年

大分県		キノシタ ミチオ 木下 通夫	<p>・水質汚濁防止法の対象外となる施設について、条例による規制を策定するとともに、公害防止協定の締結などにより水質汚濁の未然防止に貢献した。</p> <p>・環境基準の類型あてはめを行うとともに、条例による上乗せ排水基準を作成し、環境基準達成に尽力した。</p> <p>・「小規模事業場等廃水処理施設指導要綱」や「大分県生活排水処理計画」を策定し、基準が適用されない事業所の排水改善対策や生活排水対策の総合的な推進に貢献した。</p> <p>・良好な水資源の保全を目指して、「おおいた清らかな水環境保全指針」を策定し、水源保全対策の推進に寄与した。</p>
鹿児島県	トクテイヒ エイリカツドウ ホウジン 特定非営利活動法人くす の木自然館 キンゼンカン		<p>【河川調査】 地域の子どもたちと上流・中流・下流の河川の状態や生物の調査をととして、河川の水質調査に取り組んでいる。</p> <p>【藻場・干潟再生プロジェクト】 漁協と協働で、減少したアサリなどの底生生物やアマモなどの藻場の育成に取り組んでいる。</p> <p>【エコ・ウォータープロジェクト】 錦江湾(鹿児島湾)に流れ込む生活排水の水質を改善するために、環境浄化微生物群による水質浄化の市民協働に取り組んでいる。</p>
新潟市	ホウジンニイガタ ミズベ カイ NPO法人新潟水辺の会		<p>新潟県内の水辺環境について考える「新潟の水辺を考える会」として1987年10月15日設立。2002年に責任をとれる会としてNPO法人に移行。</p> <p>水辺環境の再生まちづくりや流域連携・各地の水辺活動支援・水環境の保全、水環境に関する意識の向上等大いに幅広くに取り組んでいる。</p> <p>河川の清掃、水環境保全活動長期、水質調査、水環境啓発活動長期地域の水環境保全運動</p>
神戸市		フジワラ タテキ 藤原 建紀	<p>多年にわたり、神戸市の環境影響評価制度における第三者機関である「神戸市環境影響評価審査会」の委員(平成13年～)として、主に水環境の分野を中心に、厳正な調査審議をいただいている。</p> <p>また、沿岸海洋環境学の研究に従事され、日本海洋学会、海洋気象学会、土木学会等で多数の論文を発表されるとともに、「成層海域の処理方法」等の特許を取得されるなど、内湾海域の環境・生態系保全に関する深い理解と幅広い学識を基に、神戸市の環境行政に対し、神戸海域の特性の解明、海域の環境改善、環境影響評価の技術・精度の向上など、有益かつ先見的なご助言をいただいております。その功績は大きい。</p>
北九州市		ウエダ ナオコ 上田 直子	<p>公害を克服し、さらに富栄養化の問題を解消させた洞海湾について、長年にわたり海洋観測、水質・堆積物および底生動物群集の研究を継続し、環境回復への変遷を明らかにする貴重な継続的データを蓄積した。</p> <p>また、優先的に生息する生物を用いた浄化方法や干潟・藻場などの場を利用した環境修復実験を行い、多様性の高い健全な沿岸海域の創出に貢献する研究を行った。</p>